

【W.4.1】

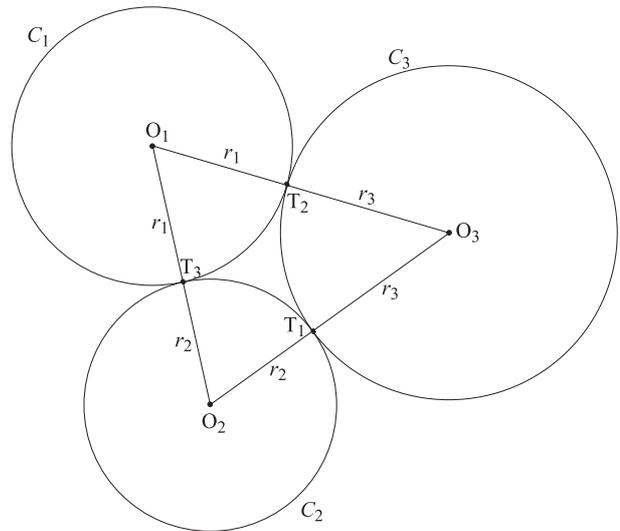
平面上で互いに外接する円  $\mathcal{C}_1, \mathcal{C}_2, \mathcal{C}_3$  に対して,

$\mathcal{C}_1, \mathcal{C}_2$  の共通接線を  $\mathcal{L}_3$ ,  $\mathcal{C}_2, \mathcal{C}_3$  の共通接線を  $\mathcal{L}_1$ ,  $\mathcal{C}_3, \mathcal{C}_1$  の共通接線を  $\mathcal{L}_2$

とすると、 $\mathcal{L}_1, \mathcal{L}_2, \mathcal{L}_3$  は 1 点  $I$  で交わることを示せ. 更に,

$\mathcal{C}_1$  の中心と半径を  $O_1, r_1$ ,  $\mathcal{C}_2$  の中心と半径を  $O_2, r_2$ ,  $\mathcal{C}_3$  の中心と半径を  $O_3, r_3$

とすると、 $I$  は三角形  $O_1O_2O_3$  の内心であることを示し、内接円の半径  $r$  を求めよ.



**【W.4.2】**

xyz 空間内の点  $P(0, 0, 1)$  を中心とする半径 1 の球面  $\mathcal{R}$  上の点  $Q(a, b, c)$  が条件

$$a > 0, b > 0, c > 1$$

の下に  $\mathcal{R}$  上を動くとき,  $Q$  において  $\mathcal{R}$  に接する平面  $\mathcal{L}$  が  $x, y, z$  座標軸と交わる点を  $A, B, C$  とする.  
このとき, 三角形  $ABC$  の面積の最小値を求めよ.

**【W.4.3】**

関数  $u(x)$ ,  $v(x)$  を

$$u(x) = x^4 + x^3 + \frac{1}{2}x^2 + \frac{1}{6}x + \frac{1}{24}, \quad v(x) = x^5 + x^4 + \frac{1}{2}x^3 + \frac{1}{6}x^2 + \frac{1}{24}x + \frac{1}{120}$$

によって定めるとき、以下の事柄が成り立つことを示せ.

- (1) 任意の実数  $x$  に対して、 $u(x) > 0$  である.
- (2) 方程式  $v(x) = 0$  は唯一の実数解  $\alpha$  を持ち、 $-1 < \alpha < 0$  を満たす.

**【W.4.4】**

次の有理数の整数部分の桁数と1の位の数字を求めよ.

$$\frac{10^{210}}{10^{10} + 3}$$

ただし,  $3^{21} = 10460353203$  を用いてよい.